

## 2.1.2 くさび型アンカーの標準構造図

くさび型アンカーは摩擦（圧縮）型アンカーに分類され、アンカー体にくさび機能を有す拘束具を取り付けているが、施工方法等は従来型アンカーと同様である。

なお、留意点として、以下のものがある。

アンカー体グラウトはパッカーによる圧入を基本とする。

拘束具周辺地盤の地盤反力を確実にするため

アンカー体長は、摩擦強度と地盤反力度の二つの方法で求めることができる。

基本調査試験の作業内容は同様であり、データ処理の方法（内業）のみ異なる。

いずれの方法を採用するにしても、基本調査試験はくさび型アンカー体専用の拘束具を用いて行う必要がある。

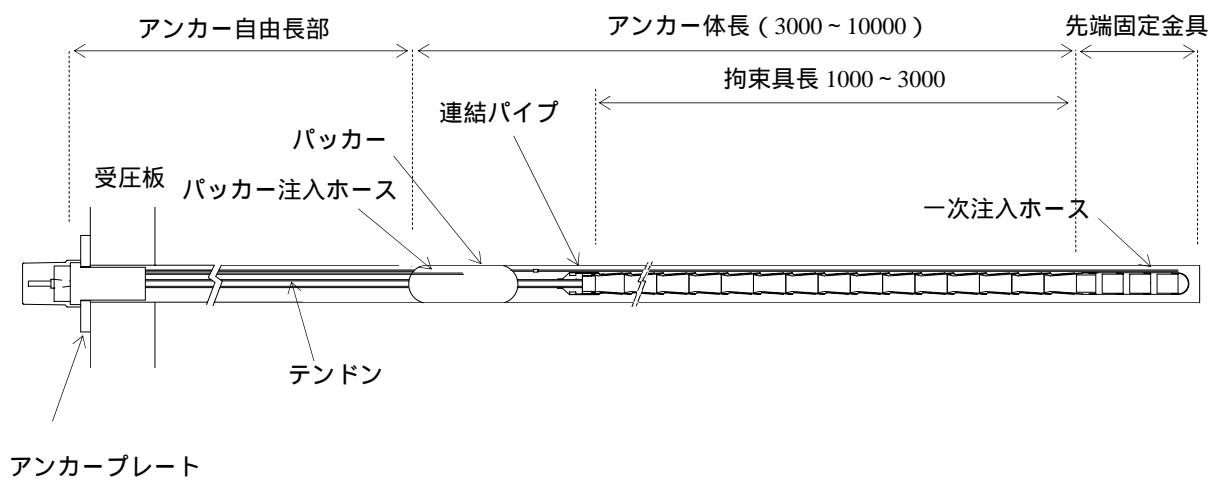


図 1.2.1 くさび型アンカーの構造図